

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 4月 10日

事業所名 児童デイサービスいっぽ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	89%	11%		学習スペース、みんなで過ごすスペース、敷地内には外で遊べる庭など設けていますが、個別学習スペースの確保を検討しています。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		職員の配置は適切であるが、今後も専門職員の配置等、充実した体制を整えていけるよう努めています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%		機能訓練室等はバリアフリーだが玄関に段差がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	業務改善についてのミーティングを日々重ねています。	目標設定、ルールについての振り返りを定期的に行っています。職員全員が参加し互いに意見を交換できる機会を設けていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		保護者向け評価表を活用し、業務改善につなげていけるよう取り組みます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		事業所のHPの更新やインスタグラムの活用で情報を公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		外部評価を検討します。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	外部研修への積極的な参加を行っています。	外部研修の参加後の内容を持ち帰り、社内研修にて他の職員にも周知していきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		より良い支援を提供できるよう、日ごろから状況把握やアセスメントの徹底を図り、子どもたち保護者様の想いやニーズ把握に努めます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		標準化されたアセスメントツールを使用し、日々変わりゆく子どもたちにあわせ、情報の最新化に努め、適切な支援につなげていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	プログラムリーダーを定め、その職員を中心とし皆で作成しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	月に一度のプログラムの作成や外部の評価プログラムを取り入れています。	子どもたちの得意なこと苦手なことを把握し、成長へとつなげていけるよう努めていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	日々のミーティングや申し送りを綿密に行っています。	アンケート等を定期的に行い、季節ごとに課題や支援内容を決めています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		子どもたちの得意なこと苦手なことを把握し、個別活動、集団活動を組み合わせ計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	1日2回(朝礼、終礼)申し送りや打ち合わせの時間を設けています。	職員全員で情報を共有し、より良い支援につなげていけるよう努めます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	共有できる支援ノートや記録を作成し、その日や翌日の午前中に申し送りなど行っています。	職員全員で情報を共有し、より良い支援につなげていけるよう努めます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	連絡帳との複写や記録を残しています。	出来るだけ具体的でわかりやすい記録を残すよう心掛けていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		引き続き行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%		ガイドラインに総則を遵守し、基本活動を軸に複数の活動を組み合わせ質の向上に努めていきます。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		児童発達支援管理責任者とふさわしい職員が参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	学校の先生や保護者様にご協力いただき、情報を共有できるようにしています。	今後も情報共有がスムーズに出来るよう努めていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%		現在、医療的ケアが必要な利用者はいませんが、今後備えが必要な情報や学べる機会を確保していきたいと思っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%		相談支援専門員など外部の専門職員や左記の機関と連携し、情報を提供できるよう努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%		相談支援専門員など外部の専門職員や左記の機関と連携し、情報を提供できるよう努めていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0%	100%		以前は、研修受講の際に、助言や相談をさせて頂いていましたが、現在その機会がなくなってしまうなかなか出来ていません。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		左記の機関との交流がもてる場や、機会等の情報を収集し、交流できるよう調整していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	100%		現在、貝塚市では該当する協議会はありませんが、他事業所とのつながりを大切にしていきたいと思っています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や送迎時の申し送り、LINEなどを活用しています。	今後もより良い関係を築けて行けるよう努めます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%		保護者様との交流をより深めていき、信頼関係を築き、トレーニングにつなげていけるよう努めます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		契約時や変更があった際に、説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	日々の保護者様からの情報などは職員全員で共有しています。	相談などがあった際には、職員全員が的確な対応ができるよう努めます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	年に2回、保護者様も含めた交流会を行っています。	コロナの関係もあり、昨年は開催出来ませんでしたが、また行っていきたいと思っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		苦情があった際には、すぐに職員全員で話し合い、改善に努め保護者様や子どもに対し説明などを行い迅速、適切に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%		毎月、行事予定表を作成配布し、定期的に活動内容や風景を個別に写真にして配布しています。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		十分に注意しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		より適切な配慮できるよう、意思疎通の方法などを学び日々の支援へとつなげていけるよう努めます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		地域の方々と交流が図れるよう計画していきたいと思っています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	0%	100%		職員には周知しているが、保護者様には充分に出来ていないので、今後周知していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		事業所内の研修や訓練などの回数を増やし、より徹底していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	内部研修と外部研修を行い、管理者、代表者が中心となって徹底している。	虐待防止研修を引き続き定期的に行ってきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%		現在、該当者はありませんが、必要な場合は十分考慮したうえ、保護者様に事前に丁寧な説明を行い、計画書に記載等の準備をしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		現在、該当者はいませんが、医師の指示書に基づき対応できるよう準備しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		ヒヤリハット事例を用いて、定期的に研修、ミーティングを行い、適切な支援、質の向上にむけて取り組んでいます。